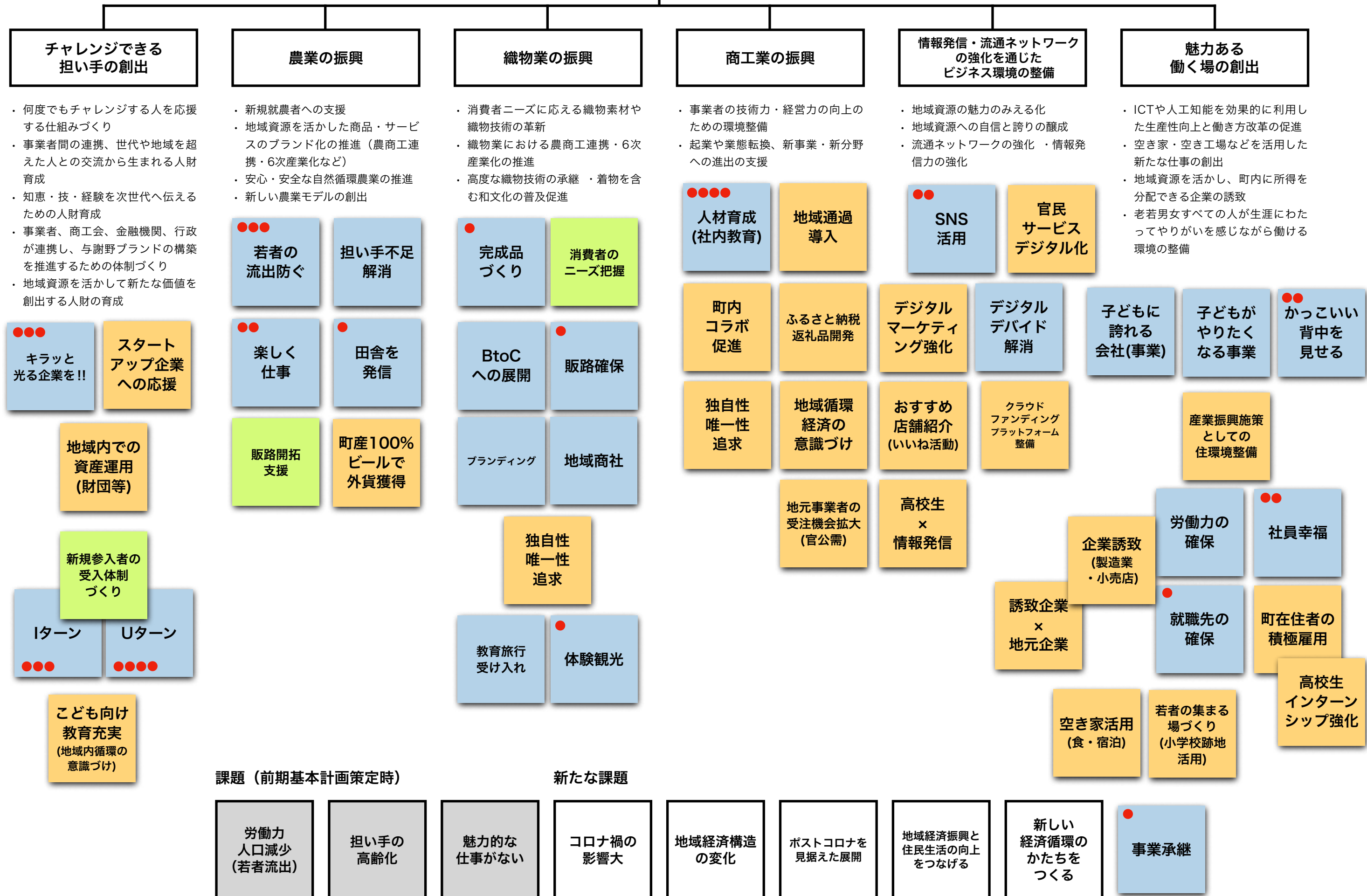


分野1

一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち【産業と仕事】



分野2

地元を誇りに想い、人の流れを生むまち【交流と発信】

魅力の認識及び「よさの者」づくり

- ・ まちの魅力を発見及び再認識する機会の創出
- ・ 家庭、地域、学校が連携したふるさと教育の充実
- ・ 地域資源の掘起し
- ・ 住民や「よさの者」による情報共有の仕組みづくり
- ・ SNSや動画などを活用したまちの魅力情報の発信
- ・ ITを活用したまちの製品の認知・販売の仕組みづくり
- ・ ふるさと納税制度を活用した「よさの者」づくり

●● まちに
残りたい
と思える
理由ある

● 小中学生向け
職場体験の
充実

子ども向け
教育の
充実

町出身者や
関係人口
による
広報強化

町外から
新たな
よさの者
の受け入れ

情報発信
強化

与謝野町の
ファンづくり

ふるさと納税
返礼品開発

新店舗
新商品を
まちぐるみ
で応援

おすすめ
店舗紹介
(いいね活動)

高校生
×
魅力発信

まちの魅力
発信イベント
の開催

魅力を体験・体感できる
コンテンツの開発

- ・ 観光ガイド及びネイチャーガイドなどの育成
- ・ 地域の祭りや地場産業を活かした体験観光の推進
- ・ 自然や歴史・文化などを活かしたグリーンツーリズムの推進
- ・ 郷土食や特産品づくりの推進
- ・ 空き家などを活用した民泊や交流拠点などの施設の充実
- ・ 公共交通の活用及びスローモビリティなどによる町内周遊モデルの確立
- ・ 滞在観光及び交流の拠点となる観光関連施設（公共施設含む）の充実

●●●●● 観光の
目玉づくり
拠点づくり

●●●●● 小学校
跡地活用

● 歴史的な
場所の
名所化

● アウトドア
拠点の
充実・拡充

●●●●● 山活用
(アウトドアアク
ティビティ)

● キャンプ場
へのルート
整備

●●●●● 人の集まる
場所をつくり
小さな活動を
続ける

空き家活用
(食・宿泊)

町内
コラボ
促進

若者の集まる
場づくり
(小学校跡地
活用)

● 観光客の
満足度向上

独自性
唯一性
追求

交流人口増加体制の強化

- ・ 海の京都DMOと近隣市町との連携強化による広域観光の推進
- ・ 与謝野町観光協会を中心としたおもてなしの充実
- ・ イベントなどの交流機会の創出
- ・ 国際交流やインバウンド対応できる受け入れ体制の強化

トップ
セールス

大学生との
連携で交流
方法の検討

まちの魅力・人の魅力が生み出す
与謝野町ならではの「移住・定住」の促進

- ・ 移住検討者・移住希望者・移住者のサポート体制の強化
- ・ 移住を目的としたお試し住宅の普及促進
- ・ 地場産業などと連携したイン・レジデンスの充実

住宅改修
助成制度

移住者を
手厚く
フォロー

地域おこし
協力隊の
協力

●●●●● 空き家を
住みたい
所にする

●●●●● 住む場所や
住みたい
住宅がない

若者
向け

女性
向け

新規採用者
向け

官民連携に
よる
住環境整備

産業振興施策
としての
住環境整備

若者の集まる
場づくり

人が流れると
お金が
流れる

子育て支援
の充実で
移住者増やす

課題（前期基本計画策定時）

新たな課題

まちの魅力が
認識できて
いない

まちの魅力が
発信できて
いない

移住者が
少ない

コロナ禍の
影響大

関係人口
(よさの者)
づくり

海の京都エリア内
での周遊・滞在に
つながっていない

体験プログラム
が不足している

空き家需給
ミスマッチ

成功事例
の共有と
横展開

行政と住民の
考え方の相違

分野3

みんなが自分らしく幸せに生きるまち【健康と福祉】

健康・福祉を支える
人財の育成と確保

- ・ 資格取得に対する補助制度の構築や、必要な研修機会の充実
- ・ 地域医療体制の維持
- ・ ちょこボラ精神の醸成
- ・ 農福連携などによる雇用づくり
- ・ 医療福祉現場の離職の予防と復職の促進
- ・ 町内外、国籍を問わない人財の確保
- ・ 介護ロボットなどの先進技術の導入 ・ ゲートキーパーなどの相談員の養成

●
資格取得の
PR・補助
制度構築

●
福祉教育の
充実

●●●●●
福祉現場で
働く人の
給与アップ

●
外国人
労働者の
受け入れ

●
民間との
連携

「元気な心と体づくり」の推進

- ・ 健康づくりや生きがいづくりの意識啓発と情報提供
- ・ 保健や医療、福祉、教育が連携した健康指導や相談体制の充実
- ・ 特定検診やがん検診の受診率向上への取り組みの推進
- ・ 心と体の健康づくりに関する学習機会や運動機会の充実
- ・ 「健康貯金」を目的としたコミュニティづくりの推進
- ・ 気軽に運動できる場の維持、整備
- ・ 地元食材、家庭の味を大切にした食育の推進

●
福祉
総合窓口
の設置

●
公民館事業
×
健康増進事業

●
老人クラブ
健康推進事業
への支援

●
楽しむ人と
つながる

心のよりどころの充実

- ・ 世代間・同世代における交流の推進
- ・ サロンなど地域における居場所づくりの推進
- ・ 見守りの強化や相談機会の充実
- ・ 認知症患者や要介護者、障害などの支援が必要な方及びその家族への支援体制の充実
- ・ 災害時の地域での支援体制の充実

●
よりどころ
の拡散

●●
ひきこもり
者宅への
訪問

誰もが自分らしさと生きがいをもって
共生できるまちの推進

- ・ 元気な高齢者の生きがいづくりの推進
- ・ 支援を必要とする人の生活基盤の改善及び教育
- ・ 就労・社会活動の機会の充実 ・ 障害への理解向上及び多様性を認め合える心の育成

●●●
高齢者への
インターネット
利用促進

●●
敬老会の
あり方検討
(出席率向上)

●●
事業者への
障害者雇用の
はたらきかけ

●
生活困窮者
支援

●●●
父子家庭への
福祉の充実

●
助けてが
言える環境
づくり

●
個人の能力
を活かした
活動を支援

●
自立する

●
やりたい
ことをやる

課題（前期基本計画策定時）

保健・医療・
福祉サービスの
担い手不足

健康に対する
意識が低い

健康づくり
への参加
少ない

支援や
心のよりどころが
必要な人への
支援体制が不十分

コロナ禍の
影響大

人材確保や
職場定着に
つながる
制度構築

支援の必要な人
に情報が
届いてない

企業と
障害者・支援者
がつながる機会
少ない

新たな課題

分野 4

つながりで笑顔を未来につむぐまち【出産と子育て】

新たな命の誕生を応援

- ・ 母子の健康づくりの推進
- ・ 妊娠・出産から乳幼児期の不安や負担を軽減する体制の充実

切れ目ないサポート

妊婦への訪問相談

親子の笑顔の暮らしを応援

- ・ 多様なニーズに応じた幼児教育・保育サービス（学童保育含む）の充実
- ・ 子ども・家庭に応じた支援と連携の強化
- ・ 子育て世代の交流の促進

孤立しない子育て

施策サービスの周知

官民連携促進

地域ぐるみの子育て力の向上

- ・ 地域ぐるみで育む意識の向上
- ・ 幅広い世代交流による子どもの育成
- ・ 子育て支援・見守り活動の推進
- ・ 子どもが安心・安全に過ごせる場の拡充
- ・ 子育てと仕事の両立に対する職場の理解の促進

他人に可愛がってもらえる環境づくり

情報共有・相談できるつながり

スマホで簡単に情報入手

親と子の学び・育ちの場づくり

- ・ 妊娠・出産・子育てに関する学習の機会の創出、知識の普及及び啓発
- ・ 食育の推進
- ・ 次世代の親の育成

夫婦の勉強会

保健師や栄養士等の家庭訪問

子育て支援の充実で移住者増やす

高校生×子育て

時代のニーズに合わせた取り組み

声を届ける場づくり

子どもたちが参加できる町内イベントの開催

特性が生かせる環境

フリースクール等伸び伸びできる場

課題（前期基本計画策定時）

未婚・晩婚・離婚増加傾向

子育て家庭と地域のつながりの希薄化

孤立する子育て家庭増加

働き方に応じた子育て環境を求める声への対応

父親の育児休業取得率低い

野田川地域の認定こども園整備

子育て支援センター利用者減

学童保育の指導員確保

子育ての新たな担い手確保

情報が少ない

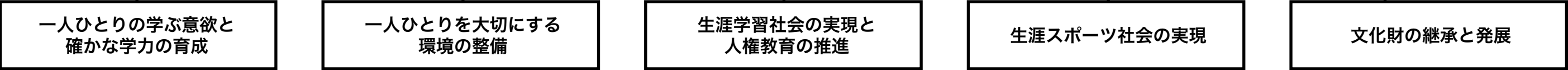
新たな課題

民間が関われる場が必要

保育・教育現場が大変

分野5

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち【教育と文化】



- ・ 与謝野町に誇りを持てる子どもたちの育成
- ・ 学びの基礎を育てる就学前教育の充実
- ・ 質の高い教育による学力の充実・向上
- ・ ICT教育・グローバル教育の推進
- ・ 地域と学校による連携・協働組織の構築

- ・ 心身ともに健やかな子どもの育成
- ・ 学校の適正配置の推進
- ・ 安心安全な学習環境の整備・充実
- ・ 適切な就学指導と教育支援の推進

生涯学習社会の実現と
人権教育の推進

- ・ 様々な要請に応じた社会教育の推進
- ・ 社会教育施設の適正管理・適正配置の推進
- ・ 公民館活動やふるさと教育の推進
- ・ 多彩な文化活動・自主活動の推進
- ・ 青少年育成活動の推進
- ・ 地域ぐるみで子どもや家庭を支える連携・協働体制の構築
- ・ 図書館の充実
- ・ 人権教育の推進
- ・ 高校・大学との連携・協働の推進

生涯スポーツ社会の実現

- ・ 社会体育施設の適正管理・適正配置の推進
- ・ 生涯スポーツの質的充実
- ・ 特色ある体力・健康増進活動の推進

文化財の継承と発展

- ・ 文化的景観・史跡など文化財の価値の啓発
- ・ 文化財の保護・保存と活用の推進
- ・ 歴史文化基本構想の策定と推進

子どもに
興味あるもの
を伝える

●●
Uターンで
奨学金無料

●
施策
サービスの
周知

在宅授業
(コロナ対応)

●●●●●●
親育て

●●
公民館の
さらなる
活用

●
親子で
参加できる
公民館活動

●●
樹木や
地蔵の活用

●
各地区での
スポーツ
教室実施

学校教育と
連携した
部活動指導
体制の拡充

スポーツ
ビジネス
(合宿誘致)

●●
祭り・地蔵盆
の継続

●●●●
まちの
歴史・文化を
子どもたちに
伝える

●●●
祭りの魅力で
人が残る

古墳の
発信

事業の
担い手が
育たない

子供の
孤立化

課題（前期基本計画策定時）

新たな課題

教育に対する
社会的要請
への対応

若年層の
流出

与謝野町
ならではの
教育の構築

コロナ禍の
影響大

問題事象・
不登校
出現率増加

子どもの
貧困化

支援を
必要とする
児童生徒増加

生涯学習・
生涯スポーツの
拠点施設の
今後のあり方

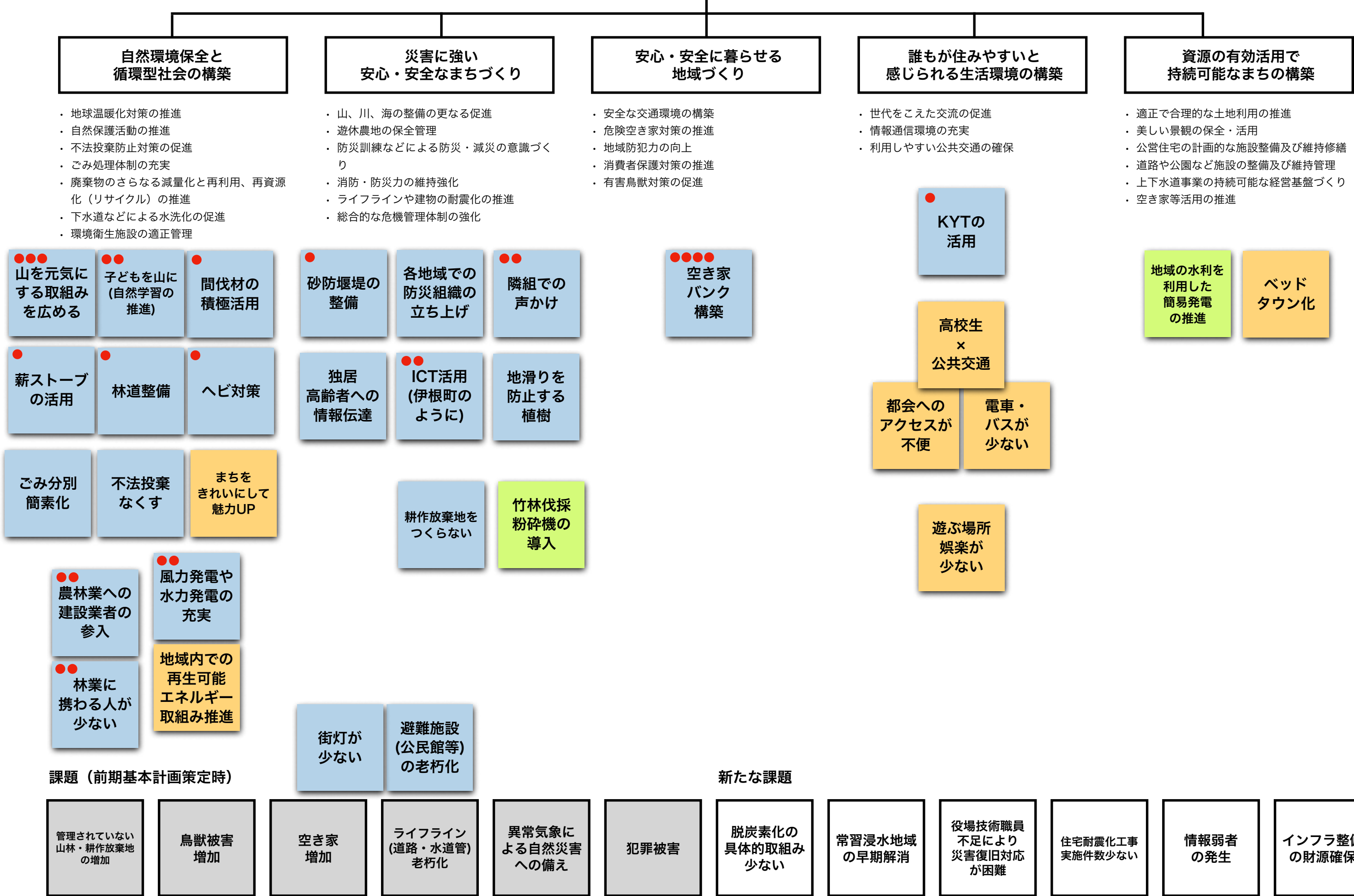
文化財の
継承者減少

祭りの
担い手不足

進学で
選択肢が
限られている

分野6

美しくて住みやすい安心安全なまち【自然環境と生活環境】



分野 7

住民が主人公となるまち【地域協働と行財政運営】

地域人財の育成

- ・ 自分事として考え行動する地域人財の育成
- ・ 生涯学習と研修機会の創出

人材育成支援
制度構築
(視察旅費等
補助支援)

協働のまちづくり

- ・ 協働のまちづくりに関する基本ルールの制定
- ・ 住民による地域自治の推進
- ・ 多様な主体によるまちづくりの推進

地域内の
つながり
強化

議会も
協働の
主体

議会の
質向上

女性議員
を増やす

みんなが互いに認め合い 助け合うまちづくり

- ・ 男女共同参画社会の推進
- ・ 人権意識の啓発

目の行き
届きづらい
人への支援

アウト
リーチ
支援強化

未来を見据えた行財政運営

- ・ 政策評価を基軸とした自治体経営
- ・ 公共施設の効率的な運営・整備
- ・ 先進テクノロジー活用を検討・推進
- ・ 行政単位を超えた広域連携の検討・推進
- ・ 行政職員の資質・専門性の向上

町内版
ふるさと
納税制度
構築

行政所有の
不要財産の
処分

見える、聞こえる、 言えるまちづくり

- ・ 情報発信力の向上
- ・ 情報共有化の仕組みづくり
- ・ まちづくりへの参画機会の充実

まちづくり
への関心度
を上げる

自治会と町の
意見交換
機会づくり
(町政懇談会
ではない)

課題（前期基本計画策定時）

まちづくりの
主体が
行政に
偏っている

地域における
担い手不足

住民の
連帯感の
希薄化

コロナ禍の
影響大

協働の
まちづくり
に関する
基本ルール
の制定

時代に適応した
公共サービスの
あり方の検討

社会的包摂
への理解
(男女共同参画・
LGBTQ)

まちづくりへの
参画機会の確保
(若者・子育て世代)

新たな課題

重点プロジェクトの検討

班

進化系「よさのみらい会議」

「新しいモノ・コト」
応援プロジェクト

「与謝野町のいいね！」
プロジェクト